

都電荒川線（東京さくらトラム）特集



➤ 都電荒川線の概要と歴史

< 概要 >

都電荒川線は荒川区の三ノ輪橋から新宿区の早稲田まで約12.2kmを運行している東京都交通局が運営する都内に唯一残る路面電車

< 歴史 >

- ◆ 1911年 荒川線の前身の王子電気軌道が大塚～飛鳥山間(大塚線)を開業
- ◆ 1913年 飛鳥山下～三ノ輪間(三ノ輪線)開通
- ◆ 1925年 大塚線と三ノ輪線が1本化
- ◆ 1930年 早稲田～三ノ輪間のすべてが開通
- ◆ 1942年 王子電気軌道が東京市に統合され「市電」となる
- ◆ 1943年 東京都制施行により「都電」となる
- ◆ 1974年 都電荒川線の存続が決定
- ◆ 2017年 愛称が「東京さくらトラム」に決定
駅ナンバリングの路線記号は「SA」



【荒川線の貸切車両】



【三ノ輪橋停留場】



【荒川車庫前】



【沿線の架線柱】

➤ 都電荒川線の豆知識

- 都電荒川線が通っている飛鳥山の坂の高低差は路面電車では日本一
- 車道を走る区間は飛鳥山～王子駅前のみ
- 「熊野前」停留場には熊野神社はない
(1878年に尾久八幡神社に合祀されたため)
- 1914年に尾久で温泉が発見され、多くの温泉旅館が開業
「宮ノ前」停留場近辺はかつて温泉街だった
- 東日本大震災が起こった2時間以内には全線が運転を再開した
- 廃線になった都電のレール(線路)を柵として再利用している区間がある
- 沿線に見られる古い架線柱は滝野川の停留場近辺は明治44年、飛鳥山～三ノ輪橋間は大正2年に設置されたものが多い

➤ 都電荒川線沿線の魅力

- 荒川線沿線はボランティアの方々によって140種、約13,000株ものバラが植栽されており、乗車する多くの人を楽しませています🌸
- 飛鳥山～王子駅前の区間では季節を味わうことができ、春には桜・秋には紅葉が楽しめます🍁
また、飛鳥山公園西側の山すそにある「飛鳥の小径」^{あすか こみち}では、350種にわたり約1,300株のアジサイが植栽されており、6月上旬～下旬にかけて見頃を迎えます。

資料・情報提供協力：中央図書館「北区の部屋」

地域資料専門員 黒川徳男氏



滝野川文化センター区民講座

「鉄ちゃんに行く！都電散歩」

座学時の様子です。

帽子を被り、車掌さんに

扮していただきました！